

京都造形芸術大学学長 尾池和夫

京都造形芸術大学へ ALIA の皆さまのご来訪を心から歓迎し、主催地の大学を代表して国際会議の開会の挨拶を述べます。

この国際会議は、芸術教育による平和創造を基本的なテーマとして、2012 年に ALIA が設立されて以来、初めての国際会議です。これまでに、その準備として、さまざまな議論が行われ、会議の基盤を整える作業が行われてきました。今回の国際会議にあたって、京都造形芸術大学がその会場を引き受けることとなりました。そのために、精一杯の準備をしてきた開催地の大学を代表して、多数の機関からの、多数の方々のご参加に、深く感謝いたします。

今回、アジア地域の 13 か国と 1 地域の、16 の機関が参加してくださることとなりました。この国際会議において、アジア地域の芸術大学の学長が集います。我々は各機関の持つ多様な価値観を相互に理解し、かつそれらを相互に尊重しながら、芸術教育を通じて世界平和の実現に貢献することを目指します。また、アジアの伝統文化と芸術を伝え、それらに基づく価値観を世界へ広めることを視野において、ALIA を通じた学生と教職員などの、顔の見える交流を始めたいと考えています。その目標に向かって、今回の国際会議で、具体的には「京都アジェンダ」を合意し、採択されることを目標として、会議を進めていくことを提案し、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

充実した議論を期待し、稔りある成果を期待して、開会の挨拶といたします。ありがとうございました。